

この説明書の内容をよく理解した上で、予防接種を受けてください。不安な点は、医師にご相談ください。

予防接種を受ける際には「予診票」を正確に記入し、ご自身の情報を正しく医師に伝えた上で問診及び診察を受けることで、より安全に予防接種を受けることができます。

1 風しんの症状について

風しんは、風しんウイルスの飛沫感染によって発症します。潜伏期間は約2～3週間で、軽いかぜ症状で始まり、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主症状です。発疹も熱も約3日間で治まることが多いので「三日ばしか」とも呼ばれています。予後は、一般に良好ですが、血小板減少性紫斑病（3,000人に1人）、脳症（6,000人に1人）などの重い合併症が発生することがあります。また、大人が罹患すると、乳幼児に比べて重症化する傾向が見られます。

特に、妊婦が妊娠早期に風しんにかかると、胎児も風しんに感染し、心臓病、白内障、聴力障害といった障害がある「先天性風しん症候群」を発症する可能性があります。

2 予防接種の効果

本予防接種で使用するワクチンは乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチンです。このワクチンは、麻しんウイルスと風しんウイルスを弱毒化し、混合、凍結乾燥した生ワクチンです。接種後の免疫獲得は良好で、1回の接種で95%以上の方が免疫を獲得すると言われています。

なお、ガンマグロブリン製剤の注射を受けたことがある方は、効果が十分に出ないことがありますので、接種前に医師に相談してください。

3 予防接種の副反応

副反応の主なものは、発熱、発疹です。他の副反応として、注射部位の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）などの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれんなどが見られます。まれに生じる重い副反応としては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎、脳炎・脳症およびけいれん等が報告されています。

4 接種の方法等

〔対象者〕

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日の間に生まれた男性で、風しんの抗体が十分でない※方

※基準値=HI法8倍以下相当

EIA法「陰性」または「判定保留」(EIA価6.0未満または国際単位15IU/ml未満)

〔接種方法〕

- ・麻しん風しん混合ワクチン0.5mlを1回接種
- ・クーポン券を持参の上、委託医療機関で接種を受けてください。

〔実施期間〕

2019年4月1日～2020年3月31日まで

※実施期間を超えての定期接種は受けられません。実施期間後に接種を希望する場合は、任意接種として全額自己負担となります。

5 予防接種による健康被害救済制度について

- ① 定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済を受けることができます。
- ② 健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了または障害が治癒する期間まで支給されます。
- ③ 健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に救済を受けることができます。

※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、健康管理課予防接種担当までご相談ください。

6 接種にあたっての注意事項

予防接種は、体調のよいときに受けるのが原則です。病気の治療中であるなど、健康状態が良好でない場合には、医師に相談の上、接種の実施について決定してください。また、予診の際には正確な情報を医師に伝えてください。

○接種を受けることができない方

- ① 接種日当日、明らかに発熱（37.5℃以上）している方
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方
- ③ ワクチンの成分（詳しくは医師にお尋ねください）によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
- ④ 生ワクチンを接種して27日以上または不活化ワクチンを接種して6日以上の間隔をおいていない方
- ⑤ その他、医師の判断により予防接種を行うことが不適当な状態にある方

○ 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患がある方
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）の既往がある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方、もしくは近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ ワクチンの成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

7 接種後の注意

- 接種後、急な副反応が生じることがありますので、接種後30分程度は医療機関に留まるか、医師と速やかに連絡を取れるようにしてください。
- 接種後は、接種部位を清潔に保ち、こすらないように気を付けてください。
- 接種当日は、安静を保って激しい運動は控えてください。なお、接種当日の入浴は差し支えありません。
- 接種後、約4週間は副反応の出現に注意してください。
- 接種後28日間は緊急性のない場合、抜歯、扁桃腺手術、ヘルニア手術等は避けてください。
- 接種後、接種局所の異常反応や体調の変化を訴える場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- 接種後、他の予防接種を受けるときは、27日以上の間隔をあけてください。

【問い合わせ先】

川越市保健所 健康管理課 予防接種担当

TEL:049-229-4123 FAX:049-225-2817